

住居表示変更に伴う北九州広域都市計画地区計画の修正について

1 修正の理由

北九州学術研究都市北部地区地区計画について、平成30年6月23日より施行される町界町名及び住所の表記の変更に伴い、別添のとおり計画書の位置の修正を行うもの。

2 修正の内容

【旧】北九州市若松区大字塩屋、大字小敷、大字払川、小敷ひびきの二丁目、塩屋二丁目、塩屋三丁目及びひびきの北並びに八幡西区大字本城、本城学研台二丁目及び本城学研台三丁目地内

【新】北九州市若松区小敷ひびきの一丁目、小敷ひびきの二丁目、塩屋一丁目、塩屋二丁目、塩屋三丁目、塩屋四丁目及びひびきの北並びに八幡西区本城学研台二丁目及び本城学研台三丁目地内

報告事項1

北九州広域都市計画地区計画の変更(北九州市決定)

都市計画北九州学術研究都市北部地区地区計画を次のように変更する。

名 称		北九州学術研究都市北部地区地区計画
位 置		北九州市若松区小敷ひびきの一丁目 大字塩屋、大字小敷、大字弘川 、小敷ひびきの二丁目、 塩屋一丁目 、塩屋二丁目、塩屋三丁目、 塩屋四丁目 及びひびきの北並びに八幡西区 大字本城 、本城学研台二丁目及び本城学研台三丁目地内
面 積		約145.6ha
地区計画の目標		当地区は、北九州市の副都心黒崎の北西約5kmに位置し、若松区の西部から八幡西区折尾に至る丘陵地にあり、大学、研究所及び産学協同施設や住宅地等からなる学術・研究都市の計画がなされ、計画実現に向けて、整備が進められている。 また、貴重な動植物の生息が確認されており、生息環境の整備の観点からも自然が豊富で緑豊かな地区としての整備も進められている。 当地区では、地区計画を決定することにより、既存溜池や里山及び宅地内緑地を含めた現況緑地を保全し、地区外周辺との緑のネットワークづくりを図るとともに、南部地区の「オープンキャンパスタウン」と連携することにより、緑豊かなゆとりある環境に育まれた学術・研究のまちづくりを進めるものとする。
区域の整備・開発及び保全の方針	土 地 利 用 の 方 針	北九州学術研究都市北部地区は、産学協同施設と住宅地等による賑わいと良好な住環境の形成を進める。このため、本地区を特性に応じて区分し、土地利用に関する方針を次のように定める。 住宅専用地区：低層住宅を主体とした、環境に配慮した住宅区域としての土地利用を進める。 病院施設地区：既存の病院を中心とした、福祉・医療区域としての土地利用を進める。 沿 道 地 区：学術研究都市の生活利便区域としての土地利用を進める。 大学・関連施設地区：大学、研究所及び産学協同施設等を主体とした区域としての土地利用を進める。
	建 築 物 等 の 整 備 の 方 針	地区計画の目標及び4区分した土地利用の方針に基づいた良好な市街地環境の形成及び保全を図るため、建築物等の用途、建築物の敷地面積、壁面の位置など必要な制限を行う。

以下、省略